

きずな

「新年の 船出」



主な内容

- 議長挨拶 2
- 定例会など 3～5
- 一般質問 6～11

第1回子どもサミット開催!!

町全体で新しく・積極的に取り組んでいけたらいいなと思うこと

現状と課題解決のため学校で取り組んでいること



テーマ

より良い苓北町にしていけるために

開催日時 平成31年2月23日(土曜日)
14時30分～16時

場 所 苓北町役場 2階 議場

内 容 各小中学校1名の代表者が意見発表をします。

町議会からのお知らせ

- ・12月定例会の傍聴者は85人でした。
皆さまも議会を傍聴してみませんか。
なお、傍聴についても受付簿を廃止、簡素化し、より気軽に議会傍聴できるよう改めました。
- ・定例会一般質問(音声のみ)を町ホームページで配信しています。定例会後随時更新中です。
- ・会議録は町ホームページで閲覧できます。

<https://reihoku-kumamoto.jp/>



議会広報委員会

議会だより きずな

●発行／熊本県苓北町議会 〒863-2503 熊本県天草郡苓北町志岐660 TEL0969-35-1111
●印刷／株式会社印刷センター 〒863-2114 熊本県天草市五和町城河原2-73 TEL0969-28-6700

主な議会活動

10月

27日 熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会

「みなとオアシス富岡」登録認定式

29日

天草地域国県道路の整備促進に係る要望活動

11月

5日

議員全体会
総務常任委員会

9日

総務常任委員会

13日

議会広報研修会

16日

天草・長島架橋建設促進に関する要望活動

22日

議会運営委員会
総務常任委員会
全員協議会

25日

関東ふるさと苓北会

12月

5～6日

第22回苓北町議会定例会

6・14・18日

広報委員会

編集後記

「新年あけましておめでとうございませう」

町民皆様におかれましては、幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、今年の2月4日をもって第16期苓北町議会の任期を迎えます。

この、広報「きずな」も今期最後の発行となりました。

皆様に、読みやすく、親しまれる広報誌を目指して広報委員一同頑張ってきました。しかしまだまだ、改善すべき点が多々あると思います。

次期の広報委員会に期待するとともに、これまで、発行に際し、たくさんのご意見やご協力をいただきました町民皆様に心から感謝を申し上げます。

これまでご愛読いただきありがとうございます。

また、これからも、広報「きずな」をよろしく願います。

※として保存しましょう。

平成30年度 第22回議会定例会

開催日：12月5日～6日

全小学校へのエアコン設置に
向けた予算を可決！

苓北町振興計画基本構想を可決！

れいほくまち しょうらいぞう
苓北町の将来像

ゆたかな自然と暮らしを未来へつなげるまち

議案の概要

◎ 苓北町職員の給与に関する
条例の一部改正：人事院勧
告等に基づいて職員の給料が
改定されました。

現在、中学校普通教室には
エアコンが設置されておりま
すが、小学校普通教室には設

小学校へ
エアコン設置

平成31年度～平成33年度

・ 苓北町振興計画基本構想
・ 苓北町温泉プールの指定管
理者の指定
合同会社 りんせん

補正予算の主な追加事業
□ 戸籍システム更新事業
約1,414万円
□ 小学校の空調設備設置事業
約6,917万円

・ 規約の一部変更2件
（熊本県市町村総合事務組
合・天草広域連合）
・ 一般会計・国民健康保
険・介護保険・水道・下水
道・特定地域生活排水処理
事業の各特別会計）

【一般会計補正予算】
◎ 一般会計の補正
4,032万円の追加

◎ 天草広域連合規約の一部変
更：緊急通報システムの業
務が廃止されました。（今後
は、各市町で運営）

の名称に一部変更がありま
した。

置してありませんでした。
先般の国の補正予算で小中
学校の空調設備整備への費用
が可決されたことにより、町
としても計画を前倒しで、設
置工事を実施されることにな
りました。

今回その予算が計上され可
決されました。
審議の中で、全国的なこと
なので機器の確保はできるの
か、工事についてはできるだ
け地元業者を利用してほしい
との意見が出されました。

【特別会計補正予算】

◎ 介護保険特別会計の補正
2,955万8千円の追加

◎ 水道特別会計の補正
150万円の減額

◎ 下水道特別会計の補正
2,185万円減額

◎ 特定地域生活排水処理事業
特別会計の補正
8万円減額

新年に寄せて

明けましておめでとうございます。
町民の皆様には、それぞれの感慨や抱負を胸に、新たな年をお迎えになられた
ことと存じます。

昨年は大地震と集中豪雨の急襲、かつて経験したことのない猛暑、自然災害の
恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

このような状況のもとで、町政の取り組みべき課題も企業誘致・雇用対策はも
とより、防災対策、環境対策、教育や医療・福祉の充実など、多岐にわたってい
ます。

町議会といたしましても、このような課題を見据え活発な議論を通じて、議会
審議の一層の活性化に取り組み、議決機関としての町議会の責務を着実に果たし
てまいります。

「平成」というひとつの時代を締めくくる年頭に当たり、新たな年が、皆様方
にとりまして明るく希望の持てる年となりますとともに、ご一家のご健勝とご多
幸を心から祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

平成三十一年 元旦



苓北町議会 議長
山本 政人



総務大臣感謝状贈呈



松野重幸議員

毎年、地方議員として35年以上在職し、
地方自治の発展に永年功労された議員に
対し、総務大臣から感謝状が贈呈されま
す。

今年度、苓北町議会から松野重幸議員
が受賞され、12月定例会で議長から伝達
するとともに、その功績をたたえました。



平成30年度一般会計補正予算(第5号)に対する討論

反対討論

野崎議員

今回の補正予算は、小学校空調設備等、重要な予算も提案されていることは充分承知しているが、予算の中に新大手門設計変更の委託料が提案されている。これまで、新大手門設計変更の説明は富岡2丁目、3丁目だけで行われており、他の地区では説明会は行われていない。

これでは、とても町民皆様の民意が得られたとは判断できない。よってこの大手門関係の予算が提案されている補正予算には反対である。

石田議員

小学校の空調設備の補正や、町道方針線の改修工事等は予算化していただいた事は、感謝をし評価を致しますが、富岡城関連の予算については、町民の強い反対もある。それと考えると反対をせざるを得

ない。よって今回の一般会計補正予算に反対をする。

賛成討論

浜口議員

款9教育費、項2小学校費、の工事請負費で、小学校全4校へ空調設備設置費が計上された。

小学校全4校への空調設備設置のため、本年8月の第20回臨時会で、緊急質問を提起したが、本苓北町議会で質問する事を否決された。

今回、苓北町議会の思いと違つて、この事に対する国、政府の児童生徒に対する教育環境の保全という事もあり、今回の空調設備設置の補正予算の策定につながった。

先の苓北町第20回臨時会で、この事をことごとく否決された提案者の我々5人も、私たちの取り組みは間違っていないかと安堵している。

町に対しては、今後も、

「税金の有効活用」、「子供やお年寄りを見守る」、「安心して暮らせるれいほく町」のための施策の推進を期待する。

以上の事から本案に賛成。

高戸議員

文化財保護費に測量設計委託料が補正されているのは残念である。しかしながら今回の補正予算の中には、人事院勧告に伴う予算、温泉センター指定管理委託に伴うリスク分担の増額を始めとして重要なものも含まれている。その中で、一番大きな点は、介護保険特別会計への繰出金が増額されていることである。本予算を否決されるとこの後審議される予定の特別会計そのものが成り立たない。一部の補正については納得できないが、

総体的に考えると今回の補正予算については賛成せざるを得ない。

田嶋議員

小学校空調設備設置工事監理業務委託料329万4千円、小学校空調設備設置工事(補助)6、588万円。

苓北町議会としても、待ちに待った予算措置であり、未来ある、小学生に一日も早い、快適な学習環境整備をお願いしたい。このことを始めとして、全般、メリハリのきいた補正予算案だと思う。よって平成30年度一般会計補正予算案には賛成する。

総務常任委員会
所管事務の視察調査を行いました

◎内 容…町有施設の視察調査及び町有施設を活用した誘致企業の視察調査

◎調査期間…平成30年11月9日
◎まとめ…町有財産の長寿命化計画とともに、遊休財産についても、今後の利活用



旧坂瀬川公民館に進出した繊維企業視察の様子

計画が必要と思われます。また、志岐集会所においては、外壁の痛みが激しく早急に大規模な改修が必要、抜本的な対策の検討を要望しました。その他、施設内の資料や備品の整理整頓、保管方法の改善を求めました。

町内の企業誘致については、下水道が整備されていること、また、高速インターネットの環境が整っていることを本町の強みとして、今後、企業への情報発信に努められることを望みます。

苓北町振興計画基本構想

苓北町振興計画基本構想については、11月22日の全員協議会で概要説明があり、6日の本会議で審議し、原案可決となりました。

苓北町振興計画基本構想
認定に対する討論

反対討論

浜口議員

本来、基本構想は、今後10年間の街づくりの基本指針であり、町づくりの最上位に位置づけられる。

今、町が直面している課題のひとつをとっても、人口減少、高齢化などによる過疎化、そして一次産業の衰退が見込まれる。また、外国人労働者という現行法律を無視した表記もある。

いずれにしても、これらへの対策は基本構想であってもこれらの課題に対してあまりにも抽象的すぎる。

もつと、町の現状を踏まえ、これに対応出来る一定の具体

性を持った基本構想であるべきだが、この基本構想にはそれが見えない。

よって本案に反対する。

松本議員

この「苓北町第7次振興計画」はこれから苓北町の進路路定めた大きな指針であるが、もつとも重要な実施計画が検討されないまま、きれいな事ばかり並べられた絵本の様な作成方法により作成されたのではないかと思われる所があり、信憑性がない。ここに実施計画書が無いと言う事は財政悪化により、真の「苓北町第7次振興計画」は作れないのではないかとも考えられる。よって本案に反対する。

賛否表(平成30年12月定例会) ○ 賛成 ・ ● 反対

議案番号	議案	結果	表採決	松本	廣田	高戸	松野	倉田	石田	野崎	浜口	田嶋	山下	錦戸
			賛成:反対											
議案第60号	平成30年度一般会計補正予算(第5号)	可決	8:3	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
議案第68号	苓北町振興計画基本構想について	可決	9:2	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○

※その他の議案は全議員賛成

議員定数「10人～12人」(H30.11.5現在)の
県下町村名とその人口(H29.7.1現在)

町村名	人口	議員定数	町村名	人口	議員定数
氷川町	12,181	12	西原村	6,762	10
錦町	10,905	12	高森町	6,585	10
甲佐町	10,871	12	玉東町	5,331	10
美里町	10,514	12	津奈木町	4,722	10
和水町	10,411	12	相良村	4,573	10
南関町	10,051	12	南小国町	4,152	10
多良木町	9,824	12	湯前町	4,048	10
苓北町	7,460	12	球磨村	3,855	10
小国町	7,304	12	山江村	3,545	10
嘉島町	9,186	11	水上村	2,274	10

県下31町村中 20町村

◎議員定数について

現時点において、県内の人口類似町村と比較して定数が多すぎるということはなく、また、議会の根幹に触れる重要な事項であるため、時間をかけて議論をする必要があると判断いたしました。結果として、平成31年1月13日執行

予定の町議会議員選挙における議員定数は「12人」とし、変更

更しないことを議会の総意として決定しました。次期町議会では、苓北町における議員定数(報酬含む)について、町民の皆さまとともに議論を深め決定していくべきと考えております。

平成30年11月5日議員全体会にて決議



浜口雅英 議員

一、いきいきと暮らせる町づくり

(一)人口減少への対策

問 この度の町の総合計画の策定にあたり現状の把握と課題。これの解決策等具体的な取り組みとその内容を。

町長 推計値では、2020年、7、059人。2030年、5、712人。2040年、4、453人。今回の振興計画6項目を荅北町の課題として整理をした。

今後、今回策定した第7次振興計画を基に各種施策を推進してまいる。

二、安心して暮らせる町づくり

(二)危険区域への対策

1 水防対策

問 町地域防災計画で危険状況とその水防工法が示されている。危険状況が堤防高不足と明示。これまで指摘して来た様に恒久的な工法により流域住民の安寧を図るべき。

町長 志岐川、松原川、上津深江川は、河川管理施設の整備について抜本的な対策が早期に講じられる様、県と協議し要望を行っている。

2 地滑り等危険箇所への対応

問 町の地域防災計画では、地すべり箇所は、町内で150。町は、これら陸上区域の危険箇所についての様な対応をしていくのか。

町長 本年度は、県事業で砂防施設等緊急改築事業により坂瀬川鶴、単県急傾斜地崩壊対策事業により富岡城内で法面等を整備中。

(二)防犯街灯の整備

問 防犯街灯は児童生徒の下校、健康保持と体力増強のために散歩をしておられる町

民の皆さんの、通行の安全や犯罪の防止になっている。町内の防犯街灯の設置数とLEDは。また、街灯を新設する場合の方法手段は。

(三)道路網の整備

問 町内の一部地域で若年者家族の増加という住居形態に変化がみられる集落がある。この集落では二つの町道が、生活道路として活用されているがいずれも道路幅員が狭く車の通行、児童・生徒の通学等に支障を来している。これまで道路の付け替え若しくは拡幅改修に取り組むべきと提起して来た。道路の拡幅改良、舗装の実施は、地域住民の要望に込めるという事だけでなく、町民、地域住民の生活を守るための行政の責務であることを認識し、行政自らが地域住民の声を聞くなど、現地での確認、調査をし最大

の努力を払うべき。

町長 上鳥越線の道路付け替えは現地を調査し工法の検討をした。用地は町の所有地だが一部が山林となっており、オーブンカットして付け替え道路を計画した。斜面の崩壊防止として斜面を吹付とする工法等検討した。今後、道路の安全性や工法の経済性等更に検討してまいる。城山五反田線は離合箇所の設置について検討したが、今後も引き続き用地取得について検討をしていきたい。

(四)火葬場への道路の整備

問 現状は雑草が茂り、通路の景観は最悪の状況。

町長 指摘の箇所は、防草コンクリート工を施工し、雑草の繁茂を防止し道路環境の整備を行う。工期は平成31年1月31日まで。

(五)津波二次避難所の整備

問 一次避難所に、日よけや、雨よけ風よけ、女性や、乳幼児対策等の環境整備の必

要性を提起して来た。が、この様な設備は必要無いという考えに変わりはないのか。

町長 これまでの回答どおり長時間そこに避難する想定ではない。町としては今後も緊急避難場所への日よけ等の設備設置の考えはない。

(六)電力、通信線の確保

問 都呂々木場地区全域で倒木により2時間程停電という支障木の不十分な管理による被害が発生。今後の対応は。

町長 町道は、町で伐採出来る所は随時行っており、電線等にもまで伸びた箇所は、九州電力等に伐採のお願いをしている。県道、国道は、天草広域本部にお願いしている。

(七)公共施設の維持管理

問 建設後16年を経過した志岐集会所の維持補修は。

町長 外壁等が傷んでいる。維持・管理にどういう工法が良いか検討してまいる。私も現地を見たが木造部分は相当腐食が進んでいる。



高戸幸雄 議員

●財政の健全化に向けて

問 熊本県は、10月2日県内45市町村の平成29年度決算概要を発表した。

荅北町の状況は、自治体の財政規模に将来の負債が占める割合「将来負担比率」が県下で第一位という数値である。なお、昨年と比較すると実質公債費比率及び、将来負担比率ともに減少した。熊本県市町村課の見解は、財政健全化判断比率の4つの指標・実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費率、そして、将来負担比率と何れも「健全」の範囲内である報道されている。が、県下で第一位の「将来負担比率」の数値をどのようにとらえているか伺う。

平成31年度予算編成にあたって

町長 本町における平成29年度決算に係る将来負担比率は、国が示した基準を大きく下回っており心配いらないと考えている。本町の対応としては、生活に必要なものの整備を行ってきた結果であり、町民生活の快適性の度合いを大いに向上させたものと評価している。さらには、近年の経済対策を積極的に活用し国の厚い財政支援のもと、必要な事業を前倒して実施したためである。なお、今後も将来に負担を回さない財政運営を行う必要があると考えているが、必要な案件については、予算をしっかりと検討した上で取り組んで行く考えである。

●地場産業の充実のためTPP発効に伴う農業の体質強化策を

問 環太平洋パートナーシップ【TPP11】協定の発効が12月30日確定した本協定の発効を見据え農業の体質強化

策については、TPP等政策大綱に基づき既に平成27年度から実施しているところだが、本町としては、今後どのようなまちで臨むのか。

町長 TPP等関連施策大綱に基づく対策事業については、これまで、経営規模から、事業の活用が難しい状況であった。本町においては、県全体事業中一部として、畜産クラスター事業に取り組まれた農家がある。

本町においては今後も発効後、国の方針ができた段階でしっかりと受け止め対応していく考えである。

再問 TPPについては、実際これから本番である。本町では影響が大きいと考えられる畜産農家では、輸入牛肉の増大から、今以上に肉質の高

い子牛の生産が求められることが必至である。その対策として、優良牛導入事業をはじめ畜産振興補助事業の拡大を時限立法みたいな期間を設けてでも図るべきと考えるが。

町長 まずは国の政策を見極めたい。基本的な指針、予算等が出ていないので国、県と



TPP11協定発効

の連携を図る必要がある。農業後継者が増えるように頑張っていく。

公共事業の推進を

問 最近、本町のいたるところで、県発注の公共事業が、町外の業者によって施工されている。特殊な工事は別として以前はあまり見受けなかったと思う。入札の結果であると思う。入札の結果であると思う。入札の結果であると思う。

町長 県の入札公開で確認した。町内工事20件の発注で町外業者が落札したのが7件で、内4件が県の指名ランクにより町内業者が指名されなかったものである。今後県の関係

部署に指名発注方法について、検討されるよう要望していく。

再問 政府は、消費税増税に向け9項目の基本方針を公表した。この中で、国土強靱化対策として、防災・減災などの公共事業の拡充を打ち出した。建設業を地域に欠かせない産業とするなら当然この機会に必要な事業に組む必要があるのではないか。

町長 財政と公共事業そして、地元産業の活性化はそれぞれ繋がっている。財政に対しては、しっかりとした健全化を目指し、これまでも多額の公共事業費を投資してきた。今後も魅力ある町づくりを行う。

●消費税率引き上げの対応を

問 平成31年10月1日から消費税率が、引き上げと予定されている。税率の引き上げとなると、水道料金及び下水道料金も引き上げとなる。事前に周知することが必要では。

町長 税率引き上げの周知については、税法の規定に基づき、国会承認後と、値上げ直前に町広報誌に掲載予定である。



石田 みどり 議員

1. 子育て支援について (1)中学入学も入学準備金の助成を (2)公共施設のトイレにベビーチェアを (3)各地区に安心して遊ぶことのできる児童公園を

2. 住宅リフォーム制度の拡充と改善を

3. 富岡海域公園の流木の撤去とその対策は

問 小学校入学時には一児童二万円。マリン校入学時には一人三万円の入学準備金の助成があるのに、中学入学時だけないのはなぜなのか。中学入学時も親の負担は大変なので助成をするべきではないのか。

町長 かねてより家庭負担軽減の観点から、中学入学時にも生徒への入学準備金をとの意見や保護者からも、話をいただいているので、入学時の助成について検討していきたい。

問 公共の施設に乳幼児を座らせる事のできるベビーチェアを設置するべきではないか。

町長 ベビーチェアを設置するためには、多目的トイレのような広さがないと設置できないので、スペース等を考慮して、今後検討していきたい。

問 各地区に安心して遊ばせる公園が必要ではないか。

町長 子どもたちが遊ぶ事のできる公園は、鱗泉運動公園、九州電力発電所内のふれあい広場、各区管理の公園等がある。休日には各保育園の園庭

も開放して、安心して遊べるような対策も講じている。現在の施設を活用すれば、児童公園として機能が確保されていると認識している。施設の維持管理、安全性等を考慮し検討していきたい。

問 住宅リフォーム助成制度だが、現在の制度は額もあまりにも少なく、使いにくく地域の活性化につながっていないのではないかと。使い勝手がよくもっと気軽に使えるよう改善すべきではないのか。

町長 この制度は28年度から実施、町民の住環境の向上と町内の活性化を目的とし運用している。町内の事業者を利用してもらう事を補助の要件にしており、28年度586万4千円、29年度972万8千円の事業を実施している。経済効果はあったと考える。補助率も一割だが、他の補助制度と勘案しても妥当だと考える。

再問 登録事業者に限定しているの使い勝手が悪くなっているのでは。

町長 補助金の交付上、仕事上の責任という事で登録業者

に限定している。

問 富岡海域公園の流木の撤去については、今年度6月議会でも質問したが、現在以前よりもひどくなっている。遊歩道まで流木で埋まってしまっていて、オルレコースも変更せざるを得なくなっている。せつかくのいい景観も台無しだし、苅北町のイメージダウンにもなる。何とかならないものか対策を問う。

町長 6月質問後臨時職員や職員等での、小規模な撤去は行ってきたが、9月10月の大潮と台風時の暴風等が重なった事などで、キャンプ場から海水浴場まで、遊歩道に海岸の岩石が打ち上げられ、流木等の漂着が発生している。処理については重機等での除去が必要であると考えてるので、今後冬場の波浪時期を迎えるので、その後に対処したいと考えている。

再問 他にも雨上がりには遊歩道に水が15センチ以上も溜まっていて、とても遊歩道を歩ける状況ではなく、遊歩道としての役目を果たしていない所もあるので早急に対処を。



遊歩道を埋めた流木



松本 良人 議員

国道389号(竹の迫地区)の法面や山肌の崩壊について

問 これまで危険防止対策や崩壊による慢性化した交通止めについて質問と要望をしてきた。本年は崩壊による通行止めは今のところない。過去4年間、毎年落石崩壊により通行止めが行われたが、危険を予測した交通規制は行われていない。運良く人身事故発生はなかったが、その後の対応は？

崩壊がある区間、嵩上げをしたかどうかと思うが？

①嵩上げする事により崩壊する可能性がなくなる。

②津波による浸水が無くなる。

③埋立材料に石炭灰活用は？

④石炭灰の有効活用した場合工事費が安価となる等。

特に、火力発電所の灰捨て場が少なくなっている中、火力発電所の立地町として、石

炭灰の有効活用で地域が良くなる事は、素晴らしい事ではないかと思われるが？

町長 町としては、県が計画している防災対策事業の予算確保と早急な事業完成のため、県及び国へ要望していく。(度々発生する災害箇所のため、人命の安全を最優先とした施策の確保を再三要求した。)

7期目を終える町長の考えを再度聞きたい

問 先の9月議会一般質問で「任期満了に伴うの町長選について町長の気持ち」を問われたが、再度お尋ねする。議会だより「きずな」107号の6ページに「皆さんとのお約束はまだ50%、そのことを達成するために次の機会にも挑戦させていたいただきたい」と掲げてある。間違いはないか？

「皆さんとの約束」とは選挙の公約と思われるが、これまでの7期28年の選挙の公約と、約束が達成出来たもの、まだ出来ていないものの50%についてお尋ねする。

町長 この50%は4年前に果たした公約である。ふるさと介護施設、マクロ養殖を作るという事。子育て支援、防災。マクロ養殖ができなかった。

再問 4年前の公約ではなく、7期28年の選挙の公約と、約束が達成出来たもの、まだ出来ていないものを尋ねたが？

町長 そうすると最初からしっかりした質問をするのが筋ではないか。(質問内容に批判)

再問 私は、「7期28年の選挙の公約と、約束が達成出来たもの、出来ていないものについて併せてお尋ねします」と言う事で尋ねたが？

(質問どおりの又、先に提出した一般質問通告書の内容を把握されないまま、一部の答弁に終わる)

健康作りを目的としたグラウンドの新設はないか

問 区長会の要望書の中にグラウンドゴルフ(以後GG)の用具の件が掲げられていた。近年、GG競技人口は増え続けており、適度の運動量による健康作りは素晴らしいものであると考えられ、医療費

88.8MHz FM放送の受信体制について

問 天草市では、市と民間によりFM局が開局され地区のイベントや、商店、会社等の宣伝はもとより、いろいろの話題も発信され、欠く事の出来ないものとなっている。88.8MHz FM放送は苅北町の一部では受信可能であり、愛好者が多い。

苅北町でも、この88.8MHz FM放送に参入し、このFM放送により、本町のイベントや、商店、会社等の宣伝を行えばこれまで以上の町の活性の削減、介護、認知症予防効果等、高齢化社会の到来に期待されるものである。

GGの用具の整備はもちろんであるが、グラウンドの確保も必要となっている。利用者が多く、各会場で抽選等様々な対応が行われているという。都呂々地区には、公民館グラウンドが一箇所のみであり、この小さな場所ですGG、GB、バタンク、テニス等が行われている状況である。各競技が同時に行われる事もあり、危険が伴う。

化ができるのではないかとと思われるが？

また、一部電波が弱いところや、受信出来ない所がある。受信体制の強化が出来ないのか併せてお尋ねする。

町長 受信が良くなるためには苅北町内に中継局を整備する必要がある。天草市としては「他市町参入は考えていないので、まず市内部での検討や国との打ち合わせを行う必要がある」と言う事である。

再問 町内に中継局を作っていただきたい(要望)。

グラウンド新設のお考えがないかお尋ねする。

町長 都呂々地域については今ある施設を使わないとなかなか見つからないのではないかと。旧木場小学校グラウンドや九電苅北発電所グラウンドもあるので活用をしながら上手に使っていただきたい。

問 健康づくりと言う事をお願いしたが

課長 健康作りや、介護予防等のためには適度の運動は有効だと認識している。